「ともに認め合うまち・海老名宣言」
～かかわり・つながり・ささえあい～

海老名市は、あらゆる障がいへの差別をなくし、人としての権利が守られ、障がいがあってもなくても、誰もがその人らしく安全・安心に暮らすことができるように、ともに認め合うまちをめざして、次のことを宣言します。

一　「障がい」は決して特別なことではなく、誰にでも起こり得ることです。
私たちはお互いに、多様な人格と個性・生き方を認め合い寄り添う社会、偏見や差別のない共生社会をめざします。

一　「障がい」ゆえの生きづらさを抱えながら生活している人が大勢います。
私たちはお互いに勇気を持って言葉かけをしていきます。

一　海老名市は、「障がい」について関心を持ち、理解を深め、寄り添う気持ちが持てるよう、ともに認め合うまちづくりを推進します。

平成29年3月28日　　海老名市

相談員が、皆さんの「困ったな」「聞いてほしい」を受け止めます

障がい相談窓口
K.T.S.
かかわり・つながり・ささえあい

- 障がいのある方やそのご家族、関係する方の相談窓口です
- 相談室がありますので、お気軽にお立ち寄りください

場所　：　海老名市役所1階エントランスホール
時間　：　月～金　8時30分～17時15分
窓口　：　046(200)7565　（海老名市社会福祉協議会）

イラスト／Miwa Toru

ともに認め合うまち・海老名宣言
～かかわり・つながり・ささえあい～

海老名市は、あらゆる障がいへの差別をなくし、
人としての権利が守られ、障がいがあってもなくても、
誰もがその人らしく安全・安心に暮らすことができるように、
ともに認め合うまちをめざして、宣言します。

こころのバリアフリー実行委員会
海老名市

私たちのまち海老名は、いろいろな人が
くらしているよ。障がいのある人もない人も
みんなが安心していきいきとくらせるといいね！

<宣言①>

「みんなちがって、みんないい。※」　みんなで暮らそう！

※（金子みすゞ『私と小鳥と鈴と』より引用）

【ともに生きる社会をめざそう】

私たちは、だれでも大きな病気やけがをして障がい者になるかもしれないね。

自分自身は何も変わらないのに、差別やいじめを受けたら悲しいよね。

外見からわからない障がいがある人もいるよね。おたがいの違いを認め合おう。

【だれか困っていないかな？ あなたのまわりで・・・】

【ヘルプマーク】

外見からは分からないが、援助が必要な方のマーク

【白杖SOS】

視覚障がいのある方が困った時の合図

【身体障がい者標識】

肢体不自由の方が運転をする時につけるマーク

【耳マーク】

耳が不自由であることを表すマーク

“あなた”も大切

“わたし”も大切。

<宣言②>

「おたがいに勇気をもって言葉かけをしよう！」

「大丈夫ですか」

「お手伝いしましょうか」

「お願いします」

「どちらまで?」

「ご案内しましょう」

「ありがとう

ございます」

<宣言③>

私たちのまち海老名は障がいについて
もっと知り、みんなが寄りそい、みんなが
仲間になってまちづくりをすることを
めざしていくよ!!